

有機性廃棄物減容化装置 「ミシマックス」のご紹介



バイオの力で廃棄物を
90%以上減容化！

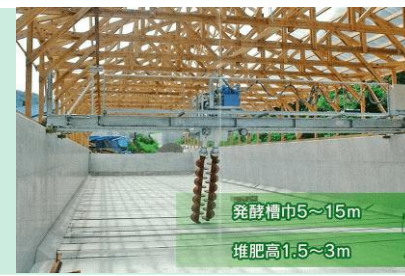
2021年5月31日
日本ミクニヤ株式会社
田中優司
y-tanaka@mikuniya.co.jp

50kg/d処理タイプ

300~500kg/d処理

1~2t/d処理タイプ

4~15t/d処理タイプ

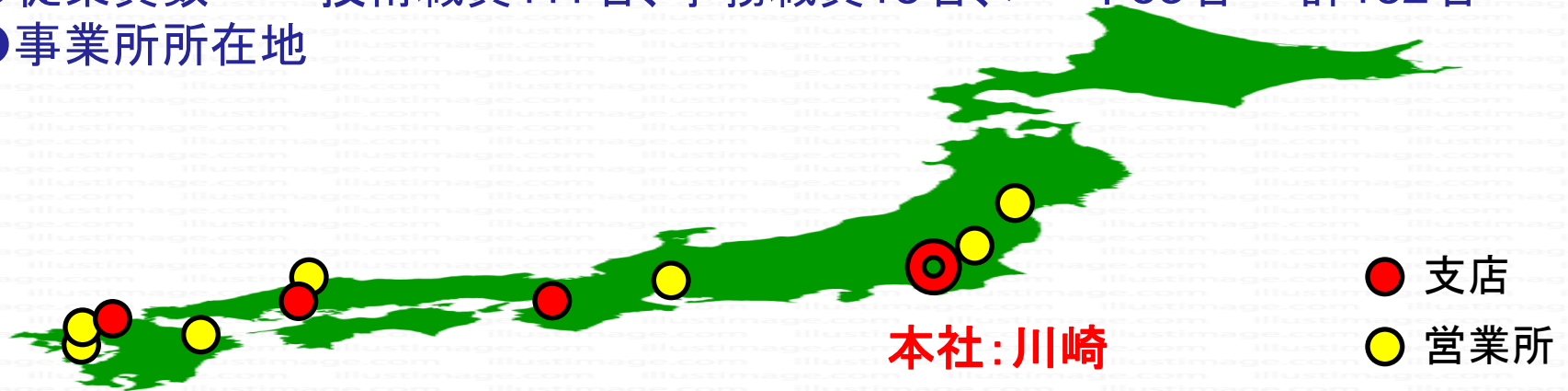


日本ミクニヤ(株) 概要



2020.4.1現在

- 商号 日本ミクニヤ株式会社
- 設立年月日 1985年10月16日→**創業36年**
- 資本金 1,000万円
- 売上高 17億53百万円(2018年10月～2019年9月)
- 従業員数 技術職員111名、事務職員18名、パート53名 計182名
- 事業所所在地



- 登録資格 建設コンサルタント業、測量業
- 主力商品: **防災・環境コンサルティング**・・・近年、ミシマックスに注力



有機性廃棄物とは



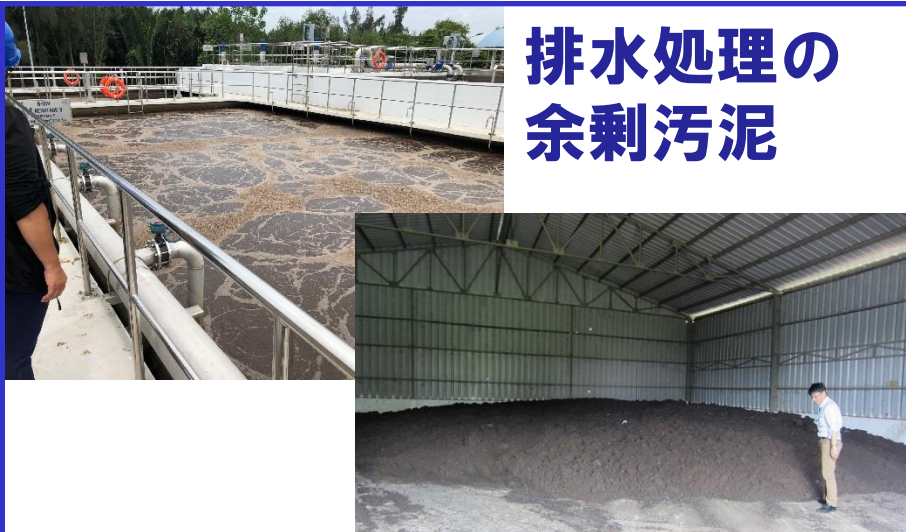
生ごみ



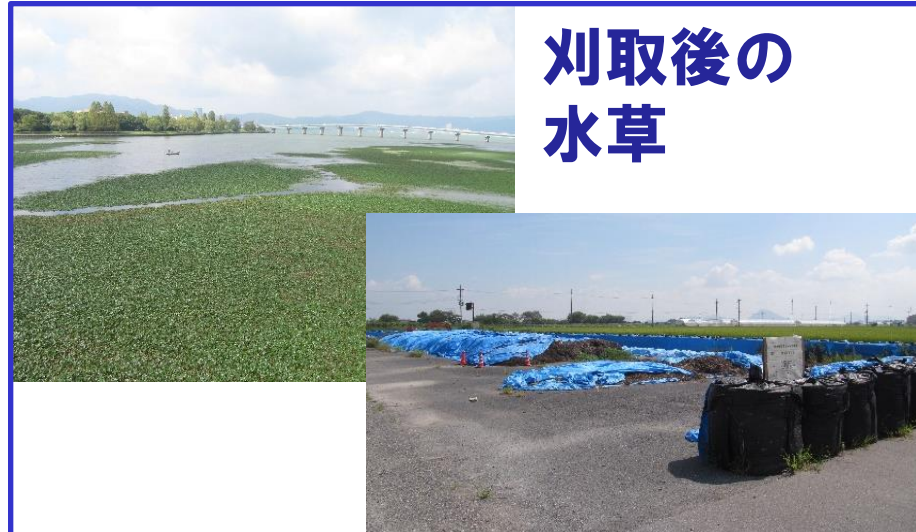
畜糞



排水処理の
余剰汚泥



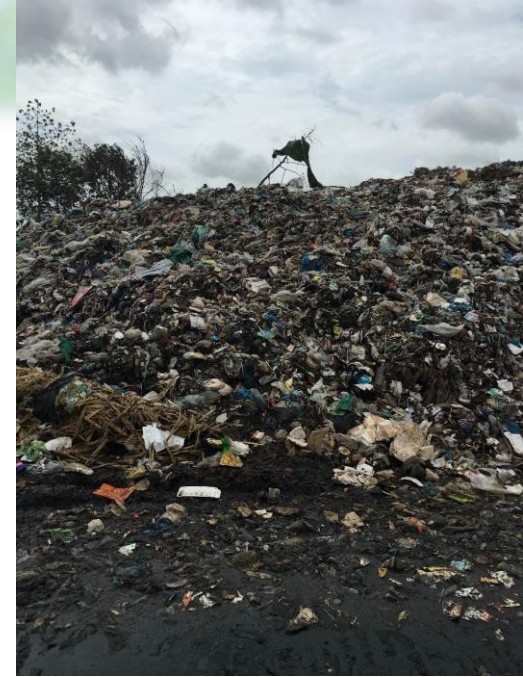
刈取後の
水草



共通点：生物由来の人間にとって利用しにくいもの
⇒大部分は廃棄物として処理・処分されている

廃棄物処理の課題

- 埋立地の不足、残余年数の圧迫
- 焼却場への負荷（水分、付着する泥）
- 収集・運搬時のCO₂排出



ミシマックスの導入



- 上記課題の軽減
- 未利用資源の再活用
（農地への還元、リンの回収、
バイオマス燃料）



有機性廃棄物減容化装置 「ミシマックス」の特徴



技術的特徴

- ・ **高温好気発酵分解**
- ・ 常在菌を活性化(特殊菌を使わない)
- ・ **木質チップ**を担体として使用
(常在菌の住処)

木質チップ



発酵分解残渣



- 肥料成分が豊富に蓄積
→ 肥料利用が可能



- 主に木質のため、バイオマス燃料として利用可能

↓
生ごみ、
畜糞、余剰汚泥を
90%/d以上減容化

1

♻️

2

資源循環
のできる装置

✖️

3

温室効果ガス
排出量の削減

5

UNIDO ITPO Tokyo's
STePP
Sustainable Technology Promotion Platform

SDGsの目標12(廃棄物の課題解決)に
合致するとして国際連合工業開発機構に
技術登録しております



従来の汚泥処理と比較して温室効果ガスの排出抑制効果を川崎市より認定されております。
現在、バイオマス利用を検討中。



ミシマックスの導入効果

- ・ 有機性廃棄物を減容化することから、
廃棄物の**処理コストが削減可能**となる。
- ・ 発酵残渣を肥料やバイオマス燃料として再利用することで**ゼロエミッションが可能**である。
- ・ 日々の運搬、焼却の工程が不要となるため、
温室効果ガスの発生抑制に効果的である。
- ・ 日本、ベトナムでの普及展開を行っております。

連絡先：日本ミクニヤ株式会社

Emails: 徳岡 tokuoka@mikuniya.co.jp

田中： y-tanaka@mikuniya.co.jp